



Sakurajyuji Rehabilitation

桜十字リハビリテーション

関連病院

桜十字大手門病院

福岡市中央区大手門3丁目15番1号
TEL: **092-753-3700**
受付時間: 月～金曜日8:30～17:30



花畑病院

福岡県久留米市西町914番地
TEL: **0942-32-4565**
受付時間: 月～金曜日8:30～17:00



原田病院

福岡県糸島市有田912番4号
TEL: **092-322-1515**
受付時間: 月～金曜日8:30～17:30



松永病院

福岡市城南区片江1丁目4番38号
TEL: **092-861-6886**
受付時間: 月～金曜日8:50～17:30



医療法人 福岡桜十字
お支払いはカード利用も可能です。
<ご利用いただけるクレジットカード>

お問い合わせ先
リハビリ部

福岡市中央区渡辺通3丁目5番11号
TEL: **092-791-1100**
受付時間: 月～金曜日8:30～17:30



公式HP



お問い合わせ



Know No Limit

～諦めない、諦めさせないリハビリを～
子ども、働く人、高齢者、障がい者・・・
すべての人の“生きる”を満たす。



CONTENTS

Chapter I 福岡桜十字のリハビリテーション P3-10

P5-6.入院リハビリテーション

- ▶ リハビリテーション回診
- ▶ 回復期リハビリテーション病棟
- ▶ 地域包括ケア病棟
- ▶ 障害者施設等一般病棟

P7-9.外来リハビリテーション

- ▶ 成人リハビリテーション外来
- ▶ 小児リハビリテーション外来
- ▶ 歩行装具外来
- ▶ MOTTOリハ!!

P10.在宅リハビリテーション

- ▶ 在宅リハビリテーション

Chapter II 産学・医工連携で創造する先端リハビリ P11-16

P12-13.SACRAの概要

- ▶ SACRAについて
- ▶ リハビリ機器貸与・研究者派遣事業

P14-15.SACRAの機器

- ▶ SACRAのリハビリテーション機器

P16.SACRAの取り組み

- ▶ SACRAイノベーション事業
- ▶ SACRA主催の研修会

Chapter III ウェルビーイングな未来に向けた取り組み P17-22

P18.予防医療

- ▶ 歩行・運動機能ドック
- ▶ さくら健康教室
- ▶ 職場での健康サポート

P19.社会貢献

- ▶ インターンシップ制度
- ▶ 社会的つながり

P20-22.教育

- ▶ キャリア別教育
- ▶ 院内研修
- ▶ SACRAゼミ
- ▶ レジデント制度

福岡桜十字のリハビリテーション

私たち福岡桜十字のリハビリは、諦めない積極的な姿勢で、挑戦し続けます。

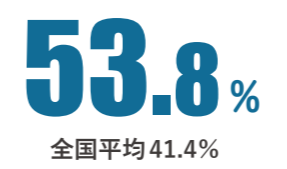
桜十字では、病気を抱えながら生活しているすべての方に対して、医工連携・臨床研究に基づいた、根拠ある積極的なリハビリテーションを提供しています。患者さまに“諦めさせない”気持ちを持っていただけるよう、セラピスト一同、“諦めない”積極的な姿勢で患者さま・利用者さまに向き合い、挑戦し続けます。



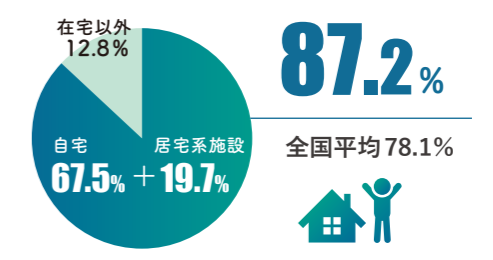
数字で見る福岡桜十字リハビリテーション

重症者改善率

回復期リハビリ病棟に入院した重症患者のうち退院時の日常生活機能評価が入院時から4点以上減点(改善)した患者さまの割合



在宅復帰率



退院時の歩行獲得率(脳卒中) ※2021年度

- ☑ 入院時歩行困難な患者さま **78.6%**
- ☑ 重症例(※)の患者さま (※入院時FIM1点) **64.8%**

専門性の高い人材

- ☑ 認定専門療法士の保持者数 **29名**
- ☑ 大学院修士号の人数 **7名**

臨床研究実績

- ☑ 論文・雑誌投稿数 **56本** ※直近5年間
- ☑ 学会発表数 **64演題** ※2024年度

認定教育機関

※2024年度

- ☑ 実習受け入れ総数 **131名**
- ☑ 認定カリキュラム外部研修受け入れ総数 **50名**
- ☑ 年間インターンシップ受け入れ総数 **80名**
- ☑ レジデント制度受け入れ総数 **15名**

共同研究総数

※直近5年間



地域貢献活動(公民館事業)

※2024年度



集中して積極的なリハビリを 入院リハビリテーション

入院中は集中的なリハビリテーションを積極的に行い
患者さまを在宅復帰へと導きます。
“諦めない”姿勢で病棟の患者さまに合った最適なりハビリを提供します。

リハビリテーション回診

リハ装具について▶ 8 歩行装具外来

リハビリテーション科専門医のもと多職種連携で行うリハビリ回診

リハビリテーション科専門医、リハビリテーション専門職、看護師など患者さまを支える多職種の専門職が集まり、患者さまの症状に合わせた適切なリハビリを行います。



- ✔ 多職種連携で患者さまをサポート
- ✔ 装具外来と連携した最適なりハビリ



回復期リハビリテーション病棟

リハ機器について▶ 11 SACRA

回復を諦めない！先進的なリハビリを集中的かつ積極的に

回復期リハビリテーション病棟では、脳血管疾患や骨折などの病気による急性期での治療が終わった患者さまに、定められた期間で集中的にリハビリを実施し、早期の社会復帰を目指します。



- ✔ SACRAと連携した最新のリハ機器使用
- ✔ エビデンスに基づいた効果的なリハビリ



地域包括ケア病棟

集団リハと個別の自主リハを組み合わせた充実したリハビリ

急性期での治療を経過し病状が安定した患者さまや、一時的に在宅での生活が困難となった患者さまに対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けたリハビリを行います。



- ✔ みんなでワイワイ集団リハビリ
- ✔ 自分専用メニューで個別リハビリ

障害者施設等一般病棟

日常生活動作の回復獲得を目指したリハビリでQOLを改善

重度の肢体不自由や神経難病など、重度の障害をお持ちの患者さまが安心して長期入院治療を受けることができる病棟です。入院が長期になってもリハビリテーションを行うことでQOL(生活の質)の改善を目指します。

support

多職種連携でのリハビリ

多職種でのチーム連携で患者さまを包括的にサポート

福岡桜十字では、多職種連携でリハビリテーションに取り組んでいます。患者さまの情報を様々な職種で共有し、多面的に評価・分析することで、より効果的なリハビリが実施できます。

医師



リハビリテーション科専門医のもと、365日無理なくリハビリを続けることができます。

看護部



生活行動の回復を促し、日常生活動作の回復を目指すNICD看護でリハビリをサポート。

管理栄養士



リハビリ・口腔・栄養を一元管理。言語聴覚士との連携で口腔状態を改善。

通院しながら自立支援をサポート 外来リハビリテーション

退院後の方や入院の必要がない方でも
福岡桜十字のリハビリテーションを受けることができます。
リハビリを通して自立支援、地域社会への参加、就労支援までサポートします。

成人リハビリテーション外来

通院可能な方に対して、日常生活を送りながら行うリハビリ

病気でリハビリテーションが必要な方に向けて、細かなニーズにお応えしたリハビリを提供します。
入院せずとも多様なリハビリが受けられるので、変わらず日常生活をお送りいただけます。



- ☑ 脳血管疾患等リハビリテーション
- ☑ 運動器リハビリテーション



小児リハビリテーション外来 大手門

お子様のライフステージに沿った、運動や遊びを通じてのリハビリ

お子様のライフステージに合わせて包括的な支援の実現を目指します。運動や遊びを通して発達を促し「できること」を増やしていくことで、お子様の自信や意欲の向上につなげていきます。



見学・体験
桜十字大手門病院までお問合せください。



歩行装具外来

リハビリ装具の開発、製作、使い方レクチャー、メンテナンスまで

身体のような回復や機能低下防止等を目的とした、患者さまにとって大切なリハビリ装具。福岡桜十字では、開発、作製、使用に関する指導からメンテナンスまで一貫して行っています。



装具手帳

リハビリ装具を正しく使うためには、定期的なメンテナンスが必要です。破損がある、サイズが合わない等の不具合がないか定期的に確認し、常に快適にリハビリできるように、装具手帳を活用し支援します。



さらに便利な装具手帳アプリも



リハビリテーション科専門医がサポートするので安心です。

企業や義肢装具士と協働で、装具の特性や扱いに長けた理学療法士が様々な用途を想定し新しい装具開発に取り組んでいます。(一例)

アプリでさらに便利に!

装具手帳アプリ

福岡桜十字では、装具手帳がさらに便利に進化した「装具手帳アプリ」を導入しています。アプリケーションを通して、装具の情報管理をアップデートし、常に正しく装具が使えるようサポートします。

- ☑ シニア世代でも管理が簡単
- ☑ ユーザーと管理者で同じ情報を共有
- ☑ チャットで即対応、タイムリーな対応も
- ☑ 給付金制度をチェック



▲詳細はPDFにて



support

福岡桜十字のリハビリテーションは、入院や外来だけでなく
在宅においてもリハビリテーションをスムーズに受けられる環境を提供し
住み慣れた地域での継続的な暮らしをサポートします。

在宅リハビリテーション

福岡桜十字のリハビリテーションをご自宅に居ながら受けられます

桜十字福岡のケアマネジャーがお一人おひとりに最適な在宅サービスを組み合わせでご提案。ご自宅
で生活しながら受けられる様々なリハビリを組み合わせ、切れ目ないサポートを提供します。

通所サービス

日中を施設で過ごし、食事や排せつ等の
介護、看護、リハビリ・入浴などを
提供するサービスです。

デイケアセンター

Let'sリハ!(デイサービス)



居宅介護支援

介護支援専門員が
最適なケアプランを
作成します。

訪問サービス

介護保険によるサービスを利用する方
ご自宅へセラピストなどが訪問し
サービスを提供します。

訪問リハビリテーション

訪問診療

訪問看護

自費サービス

介護保険等のサービスは利用できないがリハビリを行いたい等、
それぞれに合った方法で在宅生活をサポートします。

Mottoリハ!!(保険外リハビリ)

訪問リハビリテーション 天神 大手門

理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が利用者さまのご自宅へ
訪問し、実生活に活かせる具体的なリハビリを行います。



デイケアセンター 天神 大手門

日中を施設で過ごし、食事や排せつなどの介護、健康管理や衛生
管理指導などの看護、リハビリ・入浴などを提供します。目的や
体力に応じて利用時間も複数設定しています。



レッツリハ!

リハビリ専門家が常駐し、リハビリや介護予防運動を提供する
リハビリ特化型の小規模通所介護施設です。現在福岡市内+春日
市に12店舗を構え、半日型・1日型・MIX型店舗があります。

黒門 渡辺通 筑紫丘 荒江 原田 博多駅南 小笹 下原 福重 石丸 春日 桜原



Mottoリハ!!

脳卒中(脳梗塞・脳出血)や脊髄損傷、脳性麻痺等の神経疾患に特化

利用者さまに合ったオーダーメイドのリハビリを、公的保険制度(医療保険・介護保険)外で提供
します。「あなたのMotto(もっと)できること」と、その可能性を探り、実現を目指します。



広々としたMottoリハ!!専用個室でマンツーマンで対応します。




桜十字独自のリハビリ機器

見学・体験



カウンセリング付無料
体験プログラム実施中。

コースのご紹介

お身体の状態や目的に応じたコースを複数ご用意しています。(60～90分×12回コース)

- パーソナルトレーニングコース
- 脳卒中上肢・手指改善コース
- 就労支援コース Mottoリハ for WORK
- 脳卒中歩行改善コース

上記コース修了者を対象に定期的な状態確認を行うフォローアップコースもあります。

support

その他リハビリ支援

自動車運転再開支援

在宅復帰、社会復帰に欠かせない自動車運転。
患者さまの「もう一度運転したい」という想いを
サポートするため、連携する運転訓練機関
と協力し適切な評価・リハビリを行います。



就労支援

障害をお持ちの方の個々の特性を専門的に
評価し、就労支援のための援助をしています。
「あなたのしたいを仕事に」、その可能性
の実現を目指します。



民間企業、教育機関、医療機関の協働によって
これまでにない発想で開発されたりハビリテーション機器を使った
新しいリハビリテーション法の確立を目指します。

SACRAについて

産学・医工が協働でリハビリテーションの新しい価値を創生

桜十字は、桜十字先端リハビリテーションセンター(Sakurajyuji Advanced Center for Rehabilitation Approaches : SACRA)という研究機関を有しており、多くの企業、大学等と共同開発、共同研究を行い、世の中にはない新たなリハビリテーション機器を生み出しています。
桜十字福岡病院では、SACRAで培った数々の根拠あるリハビリテーションを積極的に取り入れ、より効果のあるリハビリテーションの提供を実現しています。

◎ 沿革

2018年 4月	先端リハビリテーションセンター SACRA 開設
2018年 12月	府省共通研究開発管理システム(e-Rad)研究機関登録
2020年 9月	科学研究費補助金取扱機関認定
2024年 8月	手指リハビリテーション機器 Narem で北九州市立大学との共同特許取得

◎ 科研費取得課題

2021年度	体幹訓練機器 Trunk Solution による介入効果の検証 若手研究
2022年度	手指麻痺の改善を目的としたリハビリテーション支援システムの開発とその効果検証 基盤研究(C)
	Pusher 症候群の病態基盤の解明と効果的なリハビリテーション法の開発 基盤研究(C)
2025年度	AI 行動解析を活用した不良な移乗動作の検知システムの構築 基盤研究(C)
	看護・介護現場における脳卒中患者に対する歩行介助の動作解析システムの構築 基盤研究(C)

◎ 分担研究課題

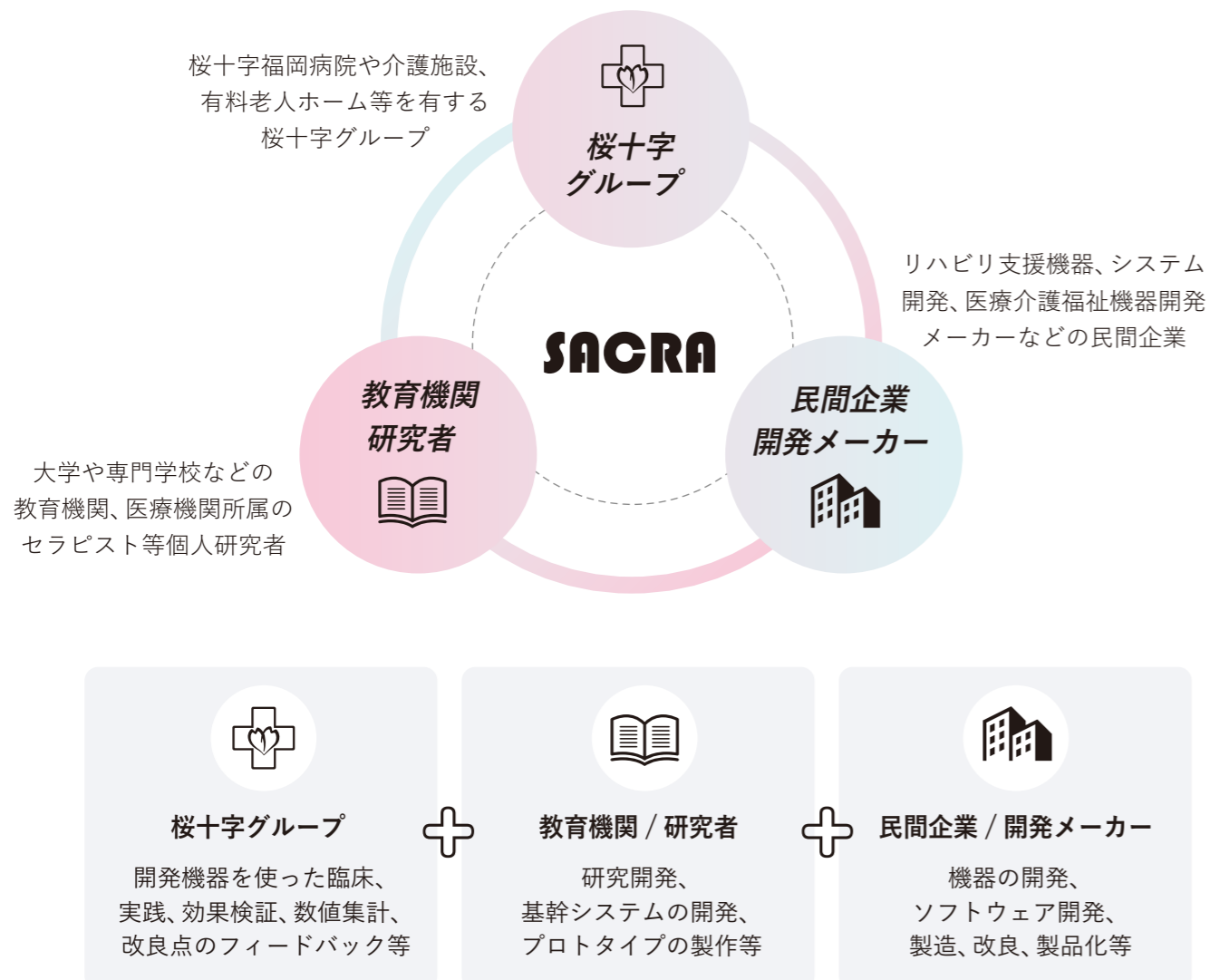
2024年度	脳画像解析を用いた脳卒中患者の新たな予後予測モデルの開発 基盤研究(C)
2025年度	維持期手指麻痺者支援に関する研究・開発・評価 基盤研究(C)

SACRA

桜十字先端リハビリテーションセンター

産学・医工が連携して リハビリテーションの新しい価値を創造

既存概念に捉われない自由な発想と、職域の垣根を超えた人々との交流によって、
新たな創造の芽を生み出す先端リハビリテーションセンター SACRA が
リハビリテーションアプローチの新しい価値を創生します。



共同開発/共同研究

大学等のさまざまな教育機関、医療機関や民間企業、研究者らと共同開発、共同研究を実施しており、開発した機器等をリハビリテーションに活かしています。

共同開発

アドバンフィット(株) (株)Q'sfix リーフ(株) 北九州市立大学 京都府立医科大学

共同研究

NTT西日本 パシフィックサプライ(株) サンヨーホームズ(株) ミズノ(株)
 福岡市地域戦略推進協議会(FDC) UNIVR USCIジャパン(株) (株)デジリハ
 アドバンフィット(株) (株)Q'sfix リーフ(株) オットーボック・ジャパン(株) トランクソリューション(株)
 FrontAct(株) (株)xCura UDeスポーツ協会 福岡eスポーツ協会 (株)豊洋製作所
 北九州市立大学 東京都立大学 令和健康科学大学 宝塚リハビリテーション病院
 国際医療福祉大学 福岡天神医療リハビリ専門学校 熊本保健科学大学 九州栄養福祉大学
 東洋大学 慶應義塾大学 名古屋工業大学 京都府立医科大学
 広島市立リハビリテーション病院 那珂川病院

共同開発/共同研究を
お考えの方



SACRAとの共同開発・共同研究により、リハビリテーションの新しい価値を一緒に創造しませんか？まずはお相談ください。



リハビリ機器貸与・研究員派遣事業

施設や企業さま向けに研究員を派遣および研究機器を貸与

施設さま向けに、研究員の派遣や研究機器の貸出、また研究支援や教育・効果測定などを支援することを目的に貸与事業を行っています。企業さま向けには、研究員を派遣し、機器の説明や臨床での使用例、機器の客観的効果の提示による機器の販売促進を目的とした貸与事業を行っています。

施設向け貸与・派遣

企業向け貸与・派遣

お問合せ・お申込み

事業・研究企画の立案

共同研究申請書の作成

データ取得・計測

データ解析・活用支援

病院・施設への同行

※企画の内容によって、上記過程が異なる場合があります。
 ※上記は一例になります。詳しくはお申込みの際にご相談ください。

主な支援内容(一例)

- 研究立案
- データ計測
- データ解析
- 効果測定
- セラピストの派遣
- 病院・施設への同行
- 機器の説明
- 活用支援

リハビリの現場から生まれた SACRAの機器

教育機関や企業らと協働して新しいリハビリテーション機器を共同開発しています。
 産学・医工が連携し、新しい発想で生まれたリハビリ機器は
 桜十字福岡病院などで実際に使うことができます。

SACRAのリハビリテーション機器

臨床現場から生まれた機器でエビデンスに基づいたリハビリテーション

G-TES



エスパージ



3軸加速度センサー



ISO force



寄り添いロボット



ゲイトジャッジシステム



リハビリの質向上を目指した SACRAの取り組み

リハビリテーション専門職の質の向上が、そのまま患者さま・利用者さまのQOL向上へつながると考え、様々な取り組みを進めているSACRA。新しいことに積極的にチャレンジする職員をサポートしています。

SACRAオープンイノベーション事業

医療現場の“あったらいいな！”をカタチに

SACRAが持つノウハウを活かし、医療現場の“あったらいいな！”をカタチにする事業です。企業、大学、研究機関、スタートアップとの協働を通じて、現場のニーズに応えつつ、リハビリテーション医療の質の向上を図り、対象者のQOL向上へと繋げていきます。

イノベーション事業
へのご提言

LINEを使って、医療現場の“あったらいいな！”を一緒に実現しませんか？ LINEにて友だち登録のうえ、お気軽にご提案ください。



SACRA主催の研修会

リハビリの質向上を目的に定期開催

SACRAでは、リハビリテーションに関わる理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を中心に多職種向けの新情報を発信し、リハビリの質の向上を通じて社会へ貢献すべく定期的に研修会を開催しています。多様な形式での研修会を企画・実施しており、これまで延べ800名以上の方にご参加いただいています。



SACRAゼミ

研究に挑戦したい職員を積極的にサポート

職員教育について ▶ 21 SACRAゼミ

SACRAでは、職員自身の成長を促すために、SACRAでの研究を推奨しています。自身が考えるテーマについて継続して研究していくことで、業務内でのリハビリテーションの質の向上はもとより、人間的な成長につながると考えています。挑戦したい職員はSACRAゼミに所属し、研究員から指導を受けることができるため、自身のキャリアアップにもつながります。

SRソフトビジョン



画像提供：住友理研

足圧モニターインソール(PIT)



タニタ body composition analyzer



伸縮性ひずみセンサ C-STRETCH®



TS-MYO



Narem(ナレム)



特許
取得

共同特許を取得

北九州市立大学との共同開発による 手指リハビリテーション支援システム「Narem」が共同特許を取得！



Naremは、脳卒中や脊髄損傷による手指の麻痺を改善するリハビリテーション支援システムで、共同特許を取得しました。麻痺手にグラブを装着することで、手指特有の巧緻運動の再現が可能であり、脳への連続的な刺激により従来の治療法を上回る効果が得られると期待されています。

リハビリテーション支援システム
プログラム及び制御装置
登録日：令和6年8月
特許番号：第7531813号



詳細はQRコードより
ご参照ください。

topics

topics

WELL-BEINGな未来に向けた取り組み

人生100年時代の生きるを満たす、 健康で幸せな生活をリハビリテーションで実現

医療・介護・予防医療を軸にWELL-BEING FRONTIER(ウェルビーイング・フロンティア)を目指す桜十字グループは「人生100年時代の生きるを満たす」を実現するため、様々な取り組みを進めています。福岡桜十字のリハビリテーション部は、人生100年時代を迎えた今、身体的・精神的・社会的に、すべての世代における人生の楽しみや、生きる喜びを支えると共に、その基盤たる社会づくりに貢献します。



WELL-BEING FRONTIERとは

2005年に創業した桜十字グループが20周年を機に新しく提唱するスローガン。桜十字グループは、人生100年時代を生きる人々が、健康かつ幸福を感じられる社会を切り拓くため、身体的・精神的・社会的な面でもQOL向上を目指し様々な側面から「Well-being(ウェルビーイング)」な社会創生に貢献していきます。

体の専門家であるリハビリ専門職として、健康増進を図り病気を未然に防ぐ予防医療に関する取り組みを行っています。子ども、働く人、高齢者などすべての方が健康的にお過ごしいただける健康づくりをサポートします。

歩行・運動機能ドック

歩行や運動機能の健康状態をチェック

歩行・運動機能ドックでは、健康診断で調べることができないカラダの状態をチェックします。健康診断に加え、運動機能・歩行能力を詳細に評価することで、健康維持や関節疾患の予測並びに予防につながります。また、結果に基づいたストレッチ&運動指導も合わせて行います。



さくら健康教室

住み慣れた地域で健康的に楽しく長生き

健康講座や運動教室などを公民館やシニアマンション等で実施しています。さらに子ども向けの運動教室や産後女性を対象としたウイメンズヘルスなども実施しています。



職場での健康サポート

リハビリ専門職が職場の健康経営をサポート

AIツール等を駆使して、科学的根拠に基づいた労災予防や働く方々の健康づくりを産業医と共にサポートしています。



リハビリテーションを通じた 社会貢献

リハビリテーションの重要性についての早期教育と啓発活動を通じて、社会全体の理解と認識を深める取り組みを行っています。
地域とのつながり強化で予防医療の促進や早期介入が可能となります。

インターンシップ制度

未来のリハビリ専門職を全力でサポート

進路を考える高校生を対象に、リハビリテーション関連職のリアルな仕事を体験していただきます。保護者の同伴もOKなので、保護者目線から職場をご確認いただけます。

- ✓ 実際のリハビリ現場を見学・体験！
- ✓ 現場スタッフとの直接座談会！
- ✓ ご家族・保護者の方の同伴OK！



社会的つながり

すべての方が参加できるイベント開催等で地域とのつながりを強化

子どもから大人、高齢者、障がいを持っている方まで、すべての方が楽しく参加できるイベントを地域の協力のもと開催しています。

■ りすのこ健康フェスタ



参加者：箕子地区住民他 場所：すのこ体育館 参加者数：約350人
りすのこスクエアOPEN前のプレイベントとして開催したりすのこ健康フェスタでは、箕子地区の住民の皆さまとの交流を楽しみました。地域の健康増進を支援する医療拠点というだけでなく、賑わいの場を提供しています。

■ インクルーシブスポーツフェスタ



参加者：どなたでも 場所：すのこ芝生広場他 参加者数：約1,000人
子どもから大人まで、また高齢者や障がいをお持ちの方まですべての方が参加し楽しむことができる(=インクルーシブ)スポーツフェスタを、すのこ芝生広場他で開催。車椅子の方や小さなお子様まで約1,000人を超える方が参加されました。

専門性の高いリハビリ人材の育成 教育

桜十字のリハビリテーションについて理解し、実践できる人材を院内外問わず、幅広く育成しています。
専門性の高いセラピストの育成がリハビリ全体のレベルアップにつながります。

キャリア別教育

キャリアごとに必要な教育を必要な時期に実施

桜十字のリハビリテーションを実践するために、スタッフ育成に注力しています。キャリアごとに必要な教育を実践的に行い、専門性の高いセラピストを育てています。

新人教育研修

新入職員に対してリハビリテーションにおける基礎的な内容から、働くうえで必要な専門的な知識まで、1年を通して学んでいただきます。
各部署に指導責任者を配置し、チーム全体で臨床教育を行いますので、不安な方でも安心して働くことができる環境を整えています。

基礎演習

基礎新人教育(Ⅰ)

基礎新人教育(Ⅱ)

専門職教育

臨床業務

フォローアップ研修

入職後数年経過した職員に対し、専門職としての心構え、今後のビジョンを見つめ直すきっかけを作る研修です。

- ✓ 研究デザインの立て方
- ✓ 文献検索の方法
- ✓ 抄録のまとめ方 他



管理職研修

職員を正しく導き、患者さまにご満足いただけるよう、管理職として必要な知識をテーマに沿って学びます。

- ✓ 診療報酬・疾患別リハについて
- ✓ 回復期リハ病棟での進め方
- ✓ 監査について 他



院内研修

セラピスト全員で認識を共有し、全体的なレベルアップへ

知識・技術の向上のため、スタッフ自らが講師となって開催する勉強会や、症例検討会を病棟機能ごとに実施しています。

○ リハビリ部内勉強会

全セラピストが最新の知見を学ぶことができるよう、業務時間内に研修会を実施しています。セラピスト全員の認識を統一することで、病棟・施設ごとの差をなくします。

○ On the Job Training

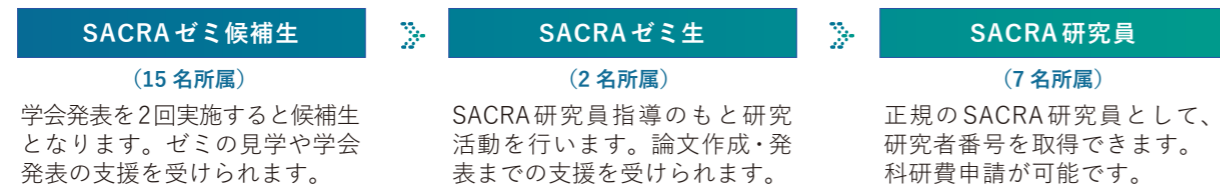
適切なリハビリテーションを行えるよう、経験豊かな上司や先輩セラピストが、若手や後輩に知識やスキルを、実務のなかで計画的に教えます。

SACRAゼミ

SACRAについて ▶ 11 SACRA

SACRA 研究員および客員研究員によるサポート体制

院内における研究活動のサポートとして、継続的な学術活動を行っているスタッフに対し、桜十字先端リハビリテーションセンター SACRA の研究員が研究活動や論文投稿まで支援します。



研究員の声



SACRA 研究員
富田誠(理学療法士)

キャリアラダーとしての役割も！ 継続的に研究を続け、晴れて SACRA 研究員に

SACRA ゼミを活用して'25年に晴れて SACRA 研究員となりました。「肩関節亜脱臼を呈する脳卒中片麻痺患者における肘関節伸展型肩装具の使用が歩行時の体幹動揺に及ぼす影響」についての研究を継続的に行ってきましたが、SACRA 研究員になることで、研究者番号が取得でき、モチベーションUPにも繋がりました。今後も引き続き自身の研究テーマを追究しながら、SACRA ゼミ生の指導にあたるなど、研究員としてのキャリアアップも図っていきたくと考えています。



レジデント制度

技術の向上を目的とした外部臨床研修制度

リハビリテーション養成校の学生、就職しているリハビリテーション専門職の方々の臨床技術の向上を目的に、施設内での研修を1～4週間ほど行っています。



○ 制度の特徴

- 1週間～4週間の短期間研修
- 卒後のセラピスト(経験年数不問)のみならず、養成校在学中の学生も受講可能
- 5つのコースから希望するコースを受講することで、習得したい技術を集中的に学習できる、教育効率の高いシステム(複数選択も可)
- 桜十字先端リハビリテーションセンター SACRA が運営。各コースに専門性の高い指導者を配置し、よりよい体制へと進化し続ける教育体制を構築

○ 対象者

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の免許取得者または養成校の在学者など

○ 研修コース (各コース研修期間は1週間)

- 基礎コース
- 機器を活用した理学療法コース
- 基本動作の介助技術習得コース
- 臨床研究コース
- 脳卒中専門コース

責任者からのご挨拶



福岡桜十字
リハビリテーション部統括
SACRA 主席研究員
遠藤正英

諦めない、諦めさせない姿勢で常に挑戦し続け、 すべての人の生きるを満たすリハビリをご提供。

「今私たちが提供しているリハビリテーションは本当にベストを尽くしているのか?」「ほかにもっといい方法があるのではないか?」など、常に患者さま・利用者さまに向き合い、職域の垣根を超えた多様な人との交流によって、すべての人の生きるを満たすリハビリテーションを日々実践しています。患者さまに諦めさせない気持ちを持っていただけるよう、セラピスト一同、既成概念に捉われない自由な発想と諦めない積極的な姿勢で、新しいリハビリテーションの価値を創出します。